

豊田市の取組状況

1. 産業集積用地の整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区の山林において、民間企業の研究開発施設などの産業集積用地を整備する。

(2) 今年度の取組

平成24年度に作成した土地利用計画図をもとに、雨水貯留・排水施設や上水道の確保のための課題に向けた検討を行ってきた。

現在、事業費を含む事業計画の精査を行っており、当該地域における企業ニーズなどを勘案しながら、今後の進め方、方向性について明らかにしていく。

(3) 平成26年度の取組予定

平成25年度に引き続き、当該地域における企業ニーズなどを勘案しながら、今後の進め方、方向性について、検討を行っていく。

2. 土地区画整理事業等の手法による市街地整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区は、第7次豊田市総合計画（H20.3）、豊田市都市計画マスタープラン（H20.3）において「拠点地域核」に位置づけられている。

公共交通機関（リニモと愛知環状鉄道）が結節する豊田市の北の玄関口として、駅周辺の活性化、居住者にとっての生活環境向上、自然環境と調和した「拠点地域核」にふさわしい良好な市街地形成に向け、地元まちづくり組織との共働による検討を進めている。

(2) 今年度の取組

地元まちづくり組織「八草まちづくり推進委員会」、地区住民及び地権者とまちづくりの方向性についての合意形成を深めながら市街地整備の計画策定に向けた取り組みを進めていく。

(3) 平成26年度の取組予定

地元まちづくり組織「八草まちづくり推進委員会」の強化、及び地区住民のまちづくり意識を高め、区画整理事業を推進する組織設立を目指す。

3. パークアンドライド駐車場の利用促進

(1) 事業概要

豊田市では平成18年度に公共交通基本計画を策定し、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を行っている。八草駅はリニモと愛知環状鉄道が結節する豊田市の北の玄関口であり、名古屋方面及び豊田市街へのアクセスに適していることから、平成23年度に拡張工事（駐車台数：55台から170台）を実施したパークアンドライド駐車場を活用し、公共交通の利用促進を図る。

(2) 今年度の取組

指定管理者制度（平成24年4月1日～）による有料化での運用を継続する。

(3) 平成26年度の取組予定

指定管理者制度による有料化での運用を継続、利用促進に努める。

※ 参考 八草地区開発構想

